

2024年11月15日

お客様本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について（暫定版）

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客様本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、お客様の安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

東びわこ農業協同組合

I.取組状況

1 お客様への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客様の多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：3)
株式型	3 (前年度末：3)	6 (前年度末：6)
REIT型	1 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

1 お客様への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

【原則2本文および(注)、原則6本文および(注)】

(2) 共済仕組み・サービス

- ・住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱を新たに開始しております。
- ・市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。

令和5年度実績

共済種類	契約件数(件)
生命総合共済	2,428
建物更生共済	1,242
自動車共済	14,496

I.取組状況

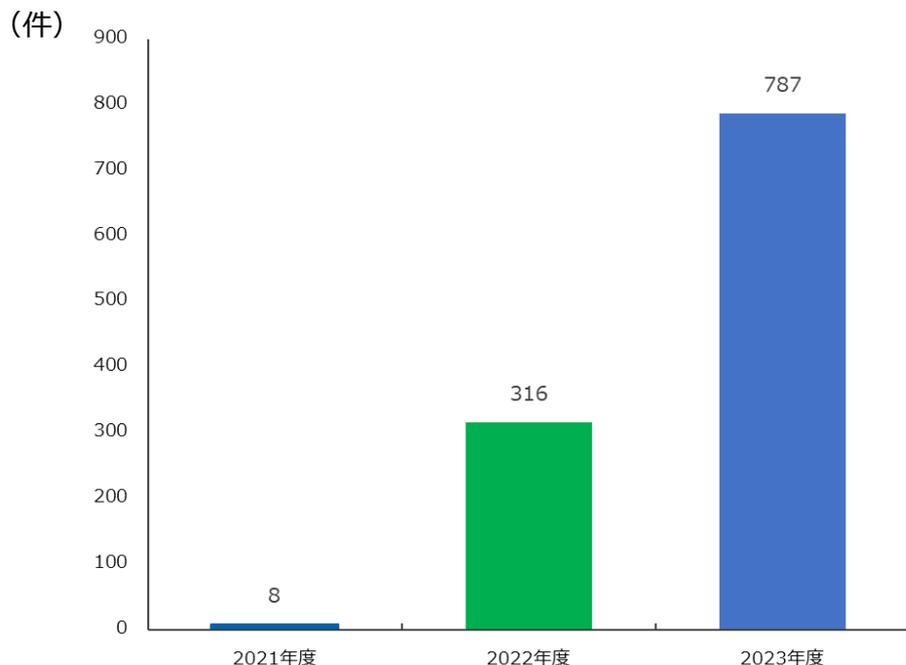
2 お客様本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

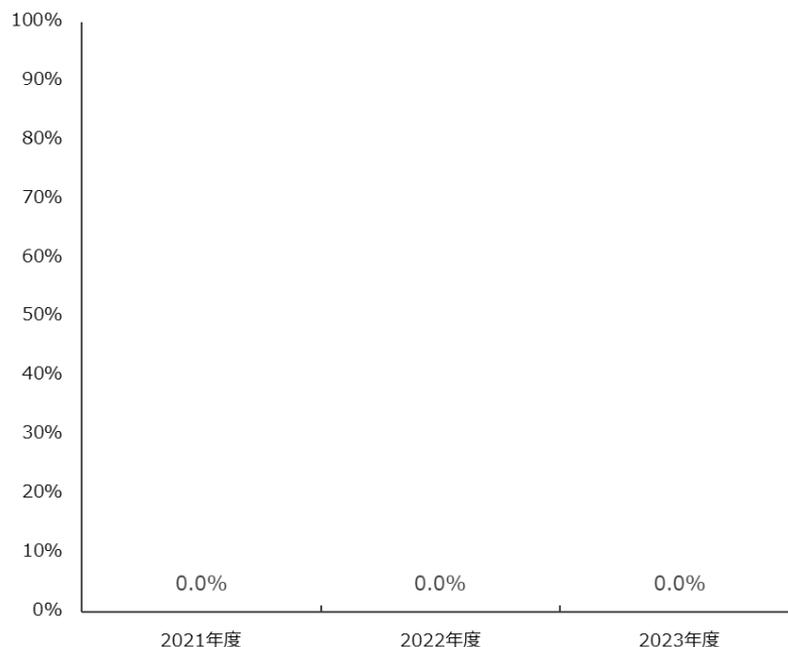
(1) 信用の事業活動

- お客様に安定的な運用成果をご享受いただくために、お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客様が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客様は過去3か年において発生しておりません。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I. 取組状況

2 お客様本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

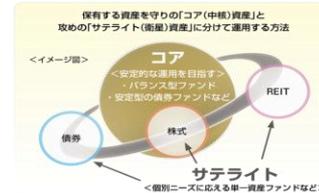
(1) 信用の事業活動

- お客様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

JAバンク ファンドマップ

		安定型	中間型(安定～中間)	中間型(中間～積極)	積極型
コア	バランス	シンプル プロフェッショナル			
	債券	シンプル プロフェッショナル			
サテライト	債券	シンプル プロフェッショナル			
	株式	シンプル プロフェッショナル	<p>左からリスクの小さい順番に並んでいるだね!</p> <p>自分のスタイルに合ったファンドが分かるね!</p>		
	REIT	シンプル			
	株式	シンプル プロフェッショナル			

③ コア・サテライト戦略について



④ 投資対象のリスクとリターンの関係イメージ



●上記は一般的なイメージであり、市場動向によっては大きく異なる可能性があります。将来の運用成果を表すものではありません。

⑤ リスクと投資カテゴリーイメージ

	安定型	中間型	積極型
リスク	小		大
商品イメージ	国内債券 海外債券 (為替ヘッジあり)	海外債券 (為替ヘッジなし)	国内株式 海外株式 国内REIT 海外REIT

●各ファンドのカテゴリーは、投資の参考となる情報を提供することのみを目的に、リスク・リターンを目安として、「商品特性」を分類したものであり、投資家に購入・解約を推奨するものではありません。

●国内株式は、債券に比べて価格変動の幅が大きい商品であり、購入・売却に手数料がかかります。また、国内株式は、債券に比べて価格変動の幅が大きい商品であり、購入・売却に手数料がかかります。また、国内株式は、債券に比べて価格変動の幅が大きい商品であり、購入・売却に手数料がかかります。

●投資信託は特約金とは異なり、元本の保証はありません。●投資信託は預金保険・付保の対象ではありません。●JAバンクが取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●投資信託は国内外の有価証券を運用する場合があります。国内に比べて、海外に比べてリスクが高くなる場合があります。このため、投資信託の運用は投資信託の運用に比べてリスクが高くなる場合があります。また、海外に比べて手数料がかかります。●投資信託は国内外の有価証券を運用する場合があります。国内に比べて、海外に比べてリスクが高くなる場合があります。このため、投資信託の運用は投資信託の運用に比べてリスクが高くなる場合があります。また、海外に比べて手数料がかかります。●投資信託は国内外の有価証券を運用する場合があります。国内に比べて、海外に比べてリスクが高くなる場合があります。このため、投資信託の運用は投資信託の運用に比べてリスクが高くなる場合があります。また、海外に比べて手数料がかかります。

I.取組状況

2 お客様本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

（1）信用の事業活動

- お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に応じて、貯金・ローン・年金・相続等の最良・最適な商品をご提案します。特にご高齢の組合員・利用者に対しては、ご家族も含めてご理解いただけるように丁寧なご説明を行います。



2 お客様本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

(2) 共済の事業活動

- ・ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。
- ・情報提供にあたっては、各種公的保険制度の情報を提供のうえ、タブレット端末機「Lablet's（ラブレッツ）」を活用しわかりやすく説明しております。



I.取組状況

2 お客様本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- ・タブレット端末機「Lablet's（ラブレッツ）」による「意向確認画面」または「意向確認書」を通じてご提案した共済仕組み・サービスがお客様一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。
- ・高齢者対応については、ご家族の方に同席いただく対応を基本とするなど、丁寧な対応を行っております。

令和5年度実績

高齢者対応における親族同席率（％）

71.6

I.取組状況

2 お客様本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

・ご加入後も、3Q活動を通じて、適切な保障が提供できていることを確認するなど、お客様に寄り添った取組みを実施しております。

令和5年度実績

3Q活動実施数(人)

11,535

・保障の加入にあたり、共済掛金の他にお客様に手数料等にご負担いただいております。

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- お客様の利益を不当に害することがないように、利益相反管理規程に基づき、適切に管理しております。

4 お客様本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および(注)、原則6
(注5) 原則7本文および(注)】

・お客様からいただいた「声（お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など）を誠実に受け止め、業務改善に取り組んでおります。

令和6年3月末実績

総合満足度(%)

93.3

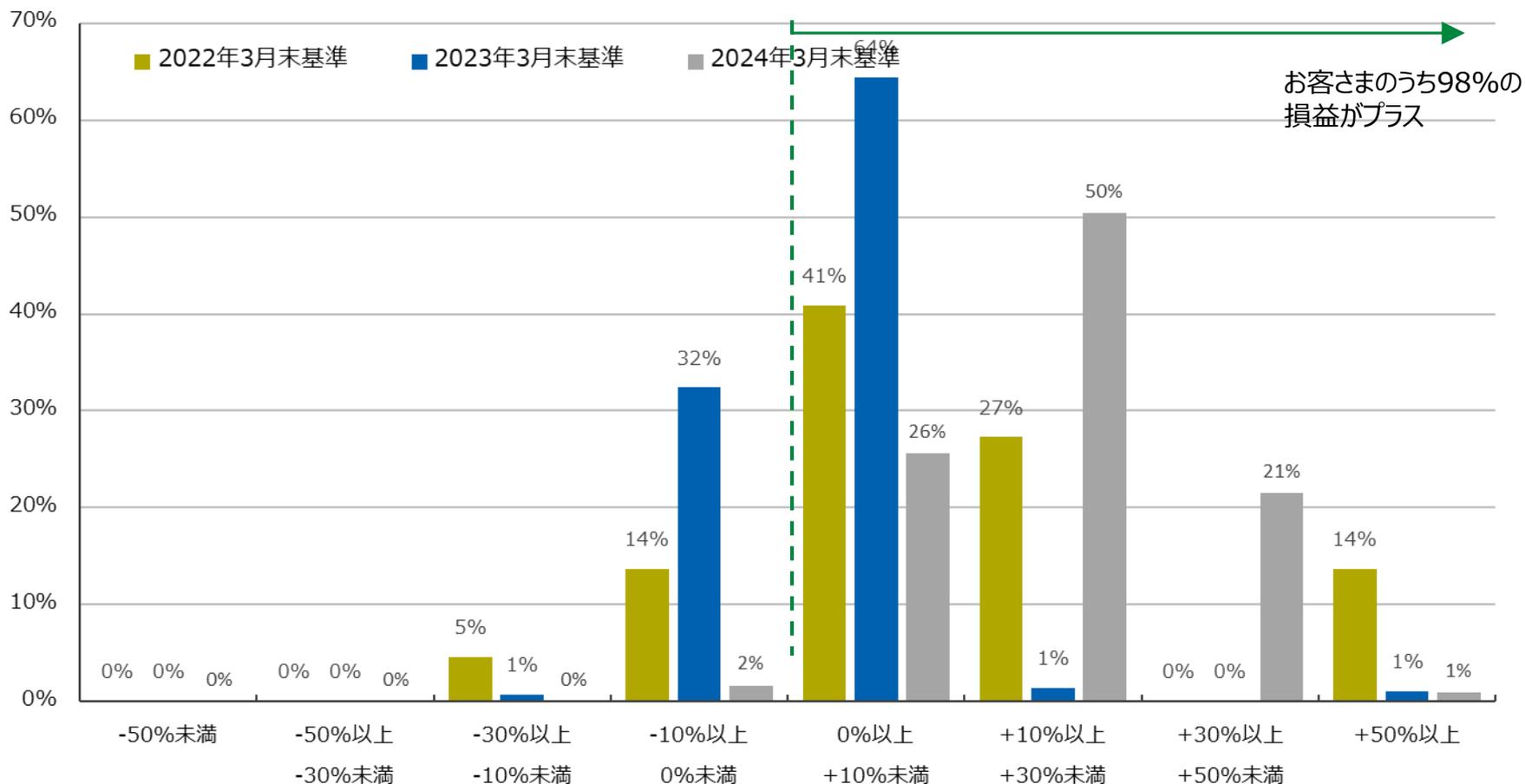
* J A 共済全般の総合満足度「とても満足」「満足」「やや満足」の合計

・お客様の信頼を獲得し、満足していただける金融商品・共済仕組み・サービスを提供できるよう、職員の継続的・定期的な研修を実施しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の98%のお客様の損益がプラスとなりました。

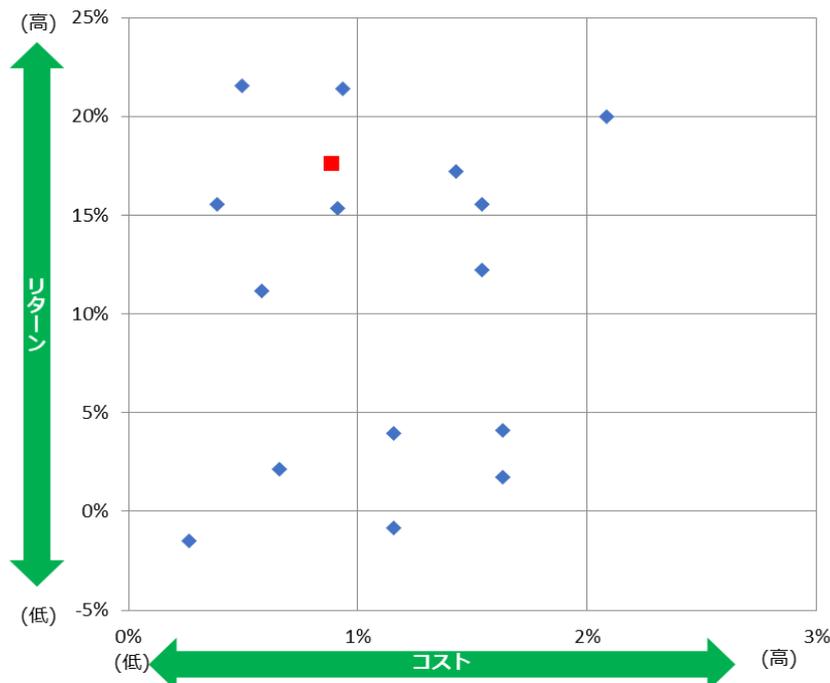


Ⅱ.比較可能な共通K P I

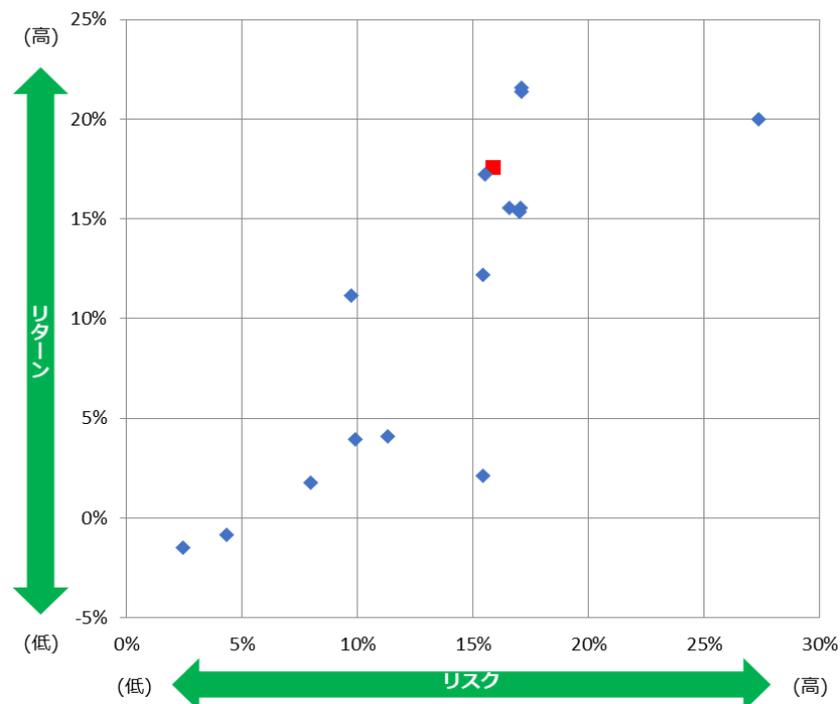
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客様本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.88%、平均リスク15.86%に対して、平均リターンは17.59%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



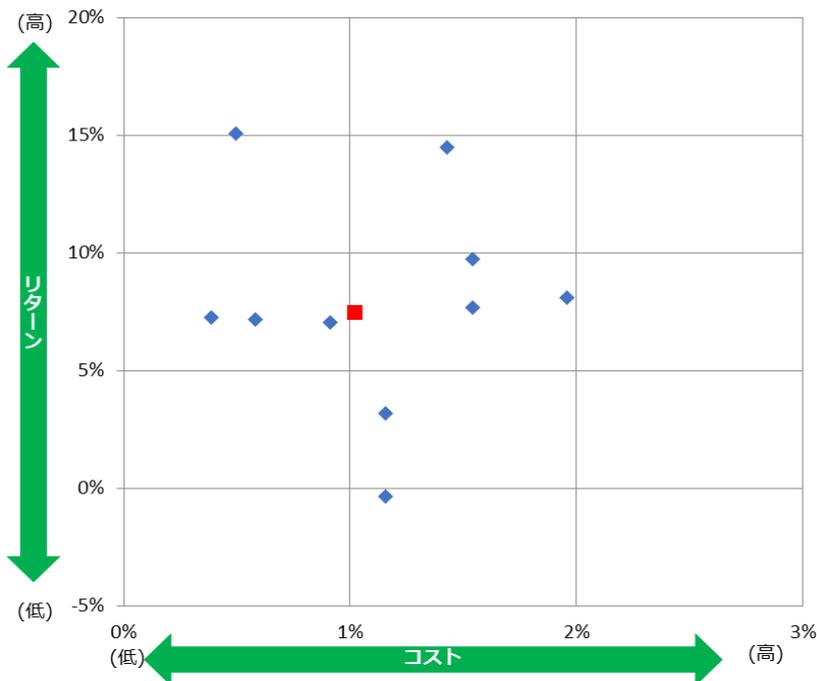
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

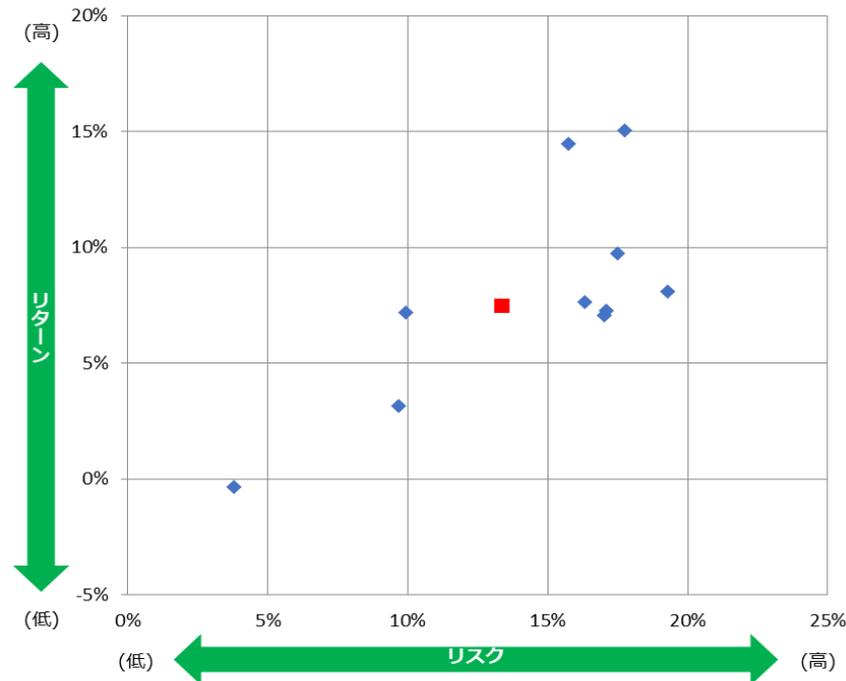
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.02%、平均リスク13.35%に対して、平均リターンは7.48%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>

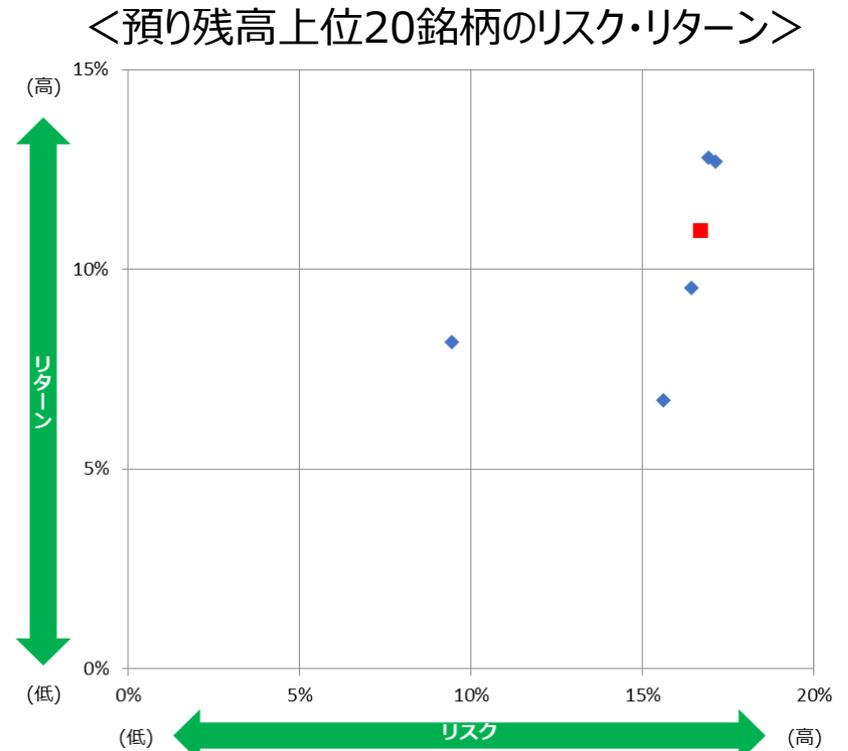
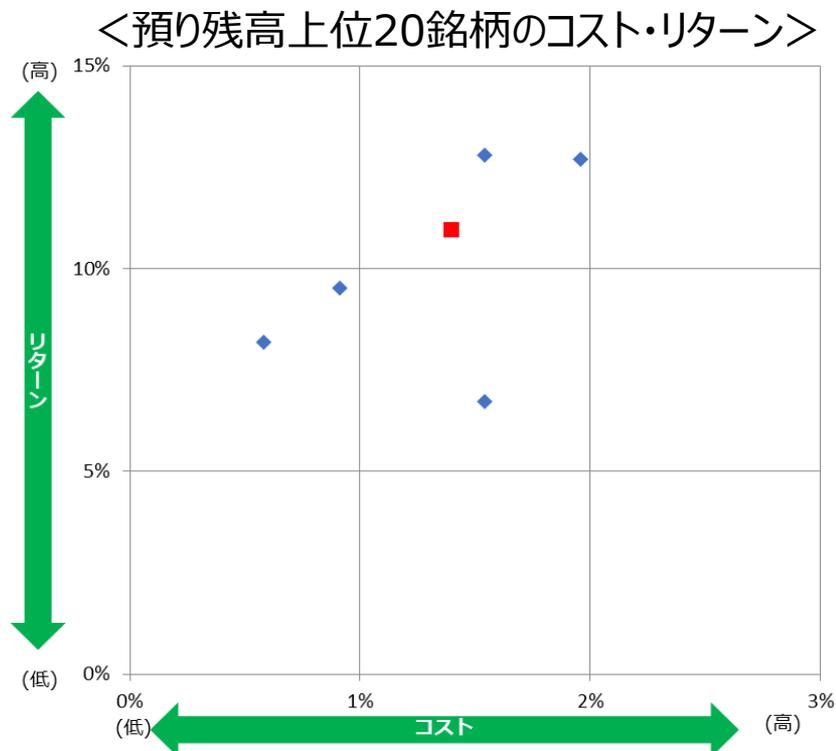


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.40%、平均リスク16.68%に対して、平均リターンは10.96%でした。



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
2	つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
5	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
6	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
9	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
10	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
11	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
12	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
13	D I A M世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	12.22%	15.44%	1.54%
14	J - R E I Tインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.14%	15.44%	0.66%
15	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		17.59%	15.86%	0.88%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は15本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド [®] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
5	日米6資産分散ファンド [®] (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
6	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
7	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	8.09%	19.30%	1.96%
8	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
10	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	7.65%	16.33%	1.54%
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.48%	13.35%	1.02%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は10本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
2	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
4	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	6.73%	15.61%	1.54%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.96%	16.68%	1.40%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は5本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。